

平成29年度

学校教育目標

ひとりひとりが輝く学校づくりをめざして
夢をいただき たくましく伸びゆく 音羽川の子

すすんで行動する子、こころ豊かな子、やさしい子、からだを大切にする子

具体的目標

- * 主体的・対話的で深い学びを重視し、自ら学ぶ力を育成する
- * 家庭学習においても主体的に学ぶ自学自習の習慣をつける
- * 人と人との絆の大切さを実感し、公共心や生命を尊重する心を育てる
- * 規範意識を高め、自分で正しい判断ができるようになるための素地を育てる
- * 他人を思いやる心、感動する心など豊かな人間性の育成を図る
- * 互いを認め合う中で自律的なふるまいができる心を育てる
- * 健康保持増進と望ましい生活習慣を実践する態度を育成する

学校経営方針(5つの重点)

1. 楽しく安心できる学習環境整備

気持ちよく学習ができる環境を教職員の力で創る
どの子にもわかりやすく学ぶことの楽しさを実感できる授業を展開する
個々の発達の不安や悩みと向き合う確かな児童理解を深める
お互いを認め合い支えあう温かい学級づくりを目指す
理数教育の推進を図るために、第2理科室の有効活用や、理科展示の充実を図る

2. 確かな学力の定着

基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につけるよう指導しきる
各種調査の分析を通じた学力実態にもとづき指導法の工夫を行う
積極的に授業を公開し、指導者の授業力をつけることにより「わかる授業」をめざす
読解力の育成に向けた朝読書において、英語の読み聞かせを取り入れる
全教職員がカリキュラム・マネジメントの視点を持って学校教育を推進する

3. こころ豊かな子を育てる

わざとじゃないから、自分だけじゃないから許されるということはないという指導を進める
誰とでもなかよく、互いによいところを見つけることができる子どもを育てる
道徳の時間については、自然・社会体験などとの関連を図り道徳的価値の理解を深める
コミュニケーション能力の育成を図るために挨拶指導を重視する
人権学習を通して友達を思うやさしい心を育てる
茶道や華道、百人一首などを通して日本の伝統文化を尊重する心を育てる
いじめの早期発見といじめられた子の思いに立った指導を行う

4. 健康や安全について考え、自分のからだを大切にする子の育成をめざす

自分の体力の向上に向けて毎日努力する子を育てる
食育を通して自分の健康管理を考えられる子を育てる
スポーツ活動を楽しむことで、生涯スポーツの一步が歩める子を育てる
危険を予知したり、回避したりする力をつけて怪我のない安全な学校生活を送る子を育てる
薬物乱用教室や非行防止教室を活用し、健康で規則正しい生活ができる子を育てる

5. 保護者と地域に信頼される学校

学校評価を活用し、教育活動の点検と取組の改善・充実を図る
地域行事・学校行事などを通して保護者・地域との日常的な連携を進める
懇談会や家庭訪問などを通して保護者の思いを知り、常に学校の情報発信に努める
学校運営協議会を通して学校と家庭や地域との連携を密にして信頼を深める
新学習指導要領を見据えて、これからの教育に対しての教職員の意識改革を図る